



心晴れ晴れ

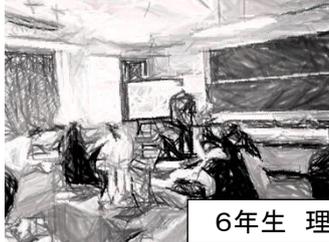
晴田小学校だより 第29号

令和8年 2月10日

文責 校長 高山 健

【学校教育目標】 心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子の育成

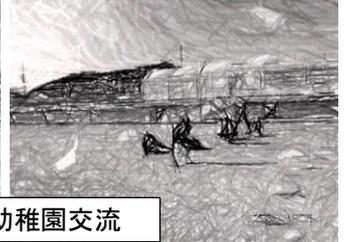
充実した教育活動



6年生 理科出前教室



5年生 幼稚園交流



1年生 晴田っ子参観デー



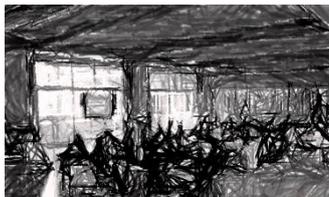
2年生 晴田っ子参観デー



3年生 晴田っ子参観デー



4年生 晴田っ子参観デー



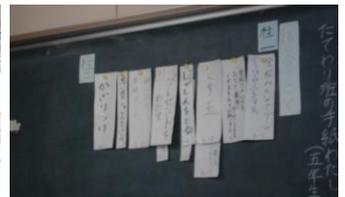
5年生 晴田っ子参観デー



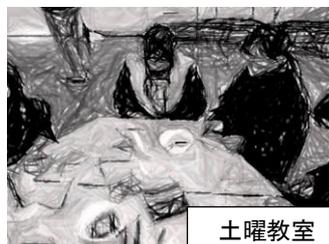
6年生 晴田っ子参観デー



代表委員会



土曜教室 茶道教室



土曜教室 どんぶり工作



2年生 誕生学



6年生 誕生学



2月になりました。振り返ってみると、様々な方々のご協力を得ながら、実に多くの教育活動が行われました。九州電力様をお招きしての出前教室は、6年生の子どもたちの前のめりになりながら話を聴いたり、実験装置にふれたりする姿が見られました。やっぱり、その道の専門家の話は驚きや発見があるものだなあと感じた私でした。5年生は、園児との凧揚げ交流を行いました。なかなかイメージ通りにはいかなかったようですが、期待に応えようと全力で走ったり、何度も挑戦したりする5年生の姿が、誇らしく、微笑ましく見えました。今年度最後の『晴田っ子参観デー』は、平日にもかかわらず、多くの保護者様に来校いただきました。ありがとうございました。どの学級・学年でも、熱意と創意が感じられる授業や活動が行われ、笑顔や真剣な姿が輝いていました。代表委員会では、『6年生ありがとう集会』についての話し合いが行われました。新しいメンバーの初々しい姿が印象的でした。2月20日に予定している集会在、心に残るものになることを願っています。土曜教室では、茶道教室とどんぶり工作が行われました。美味しさや楽しさにふれ、笑顔になる子どもたちの姿が心に残りました。企画・運営していただいた青少年健全育成会の皆様、いつもありがとうございます。2・6年の誕生学は、裏面の命を考える週間の取り組みのひとつです。助産師の先生のお話は、神秘的な命の誕生、命の尊さ・大切さを改めて知る機会となりました。学んだことをこれからいかに子どもたちの姿が楽しみです。

命を考える週間 ～生きることや命の大切さを考える～

本校では、2月15日を『命を考える日』と設定し、2月に命を考える週間を設けています。その間、命を考える集会や命の学習、性教育などの取り組みを通して、生きることや命の大切さを考えます。以下は集会のひとつです。



【絵本 「にんきものいちねんせい」のよみきかせ】

クラスの中みんながみんな、にんきものいちねんせいだということに気がつける絵本です。友だちのいいところをみつけて、自分のいいところにも友だちが気づいてくれていることを知ることで、子どもたちは成長していきます。友だちからしてもらって嬉しいことを自分もほかの友だちにしてあげることのきっかけにもなります。クラスの中でにんきもの輪が広がっていく、そんな優しさにあふれた内容でした。今後も、『聴くは思いやり 言葉は贈りもの』『私もあなたも特別な only one！大事にしよう命と心』という合言葉を大切にしていきます。



【1月の歌「まあいいのち」を全校で歌う】

♪～みんな同じ 生きているから 一人にひとつずつ 大切な命～♪
♪～みんな同じ 地球の家族 一人にひとつずつ 大切な命～♪
♪～みんな同じ 宇宙の仲間 一人にひとつずつ 大切な命～♪

地球上のすべての生き物のいのちを大切に。そんな想いをこめた さんの楽曲「まあいいのち」は、1980年に誕生しました。シンプルでありながら、強いメッセージが込められた楽曲は、CMでも取り上げられるなど、多くの方々の心に響くものでした。すべての命を大切にしようという思いが、確かなものになるよう、これからも呼びかけていきます。

【校長の話(一部抜粋)】

…でも、そのような何気ない、いつもどおりの、いやいつもと少し違っていても、日常の生活を送ることができていることは、当たり前なことではなく、あなたにとっても、私にとっても、家族にとっても、地域の人にとっても、嬉しく幸せなことなのです。だって、そこには大切な命があるってことです。命が続いているってことです。

朝、家を出るとき、おうちの人が「いってらっしゃい！気をつけてね！！」と声をかけます。私も家族に同じような声をかけます。それは、言い換えると、今日も交通事故や怪我に合わずに、無事に帰ってきてねという願いがあるからです。

命って、あって当たり前ですが、そうではありませんね。例えば、2年前の1月1日には、能登半島で大きな地震がありました。その日、地震が起こるとは、誰も予想していなかったでしょう。楽しい日々がずっと続くと考えていたことでしょう。お正月で、たまたま親戚が家に集まっていたときに、地震に遭い、家族みんなを亡くしたという悲しい話もありました。

「命は、あって当たり前」ではないのです。「何よりも大切なものなのです」だから私は、「私もあなたも特別な only one!大事にしよう命と心！」という合言葉を発信しています。また、「晴田笑顔一番大作戦」を話題にしています。当たり前ではないこの自分の命を、友だちの命を、大切にしましょうという私からの願いを込めたメッセージです。

晴田小学校では、この2月の2週間を「命を考える週間」としています。そして、命を考える集会を行っています。この2週間は、ふだん、意識することなく暮らしていますが、そこにある「命」に関する話を聞いて、自分の命や友達の命を大切にしようという気持ちを、心にしっかりと刻んでほしいと願っています。

この集会や命に関する授業を機会に、ここまで成長をできた家族や周囲の人に感謝すると共に、自分の命や友達の命について、心で感じ、考えてほしいと思います。

最後に、命のことを考えていて、もし心が苦しくなったり、つらくなったりしたりする時は、家族や先生など、身近な大人に相談してください…。

集会の後、各学級では発達段階に応じた指導が行われました。3年生の振り返りを紹介します。

当たり前だと思ってたけど、当たり前じゃない大切な命だと分かりました。これからは友だちの心をきずつけないよう気をつけます。(AKさん)

「命は当たり前のように、当たり前ではない」その一言で、命はとっても大事なんだな。そう思いました。命が大事ということを身につけます。(TAさん)

自分の命、友だちの命は大事なんだなあと思いました。命は当たり前のように当たり前ではないこと、お父さんやお母さん、そして、ごせんぞ様や未来にもかかわっている。つながっている命を大事にしようと思います。みんなオンリーワンだから命があるんだなあと思いました。みんな大事にしようと思います。(IKさん)

命はひとつしかない。心もひとつしかない。今日生き、明日も生きるのはきせきなのだと毎年思ってきたけど、自分のよさ、友だちのよさも考えないといけないと今回思いました。校長先生が言うように、わたしも命をよりいっそう大切にしたいと思いました。(MAさん)